

組合事業を通じて組合員と地域をサポート

山梨中央青果商業協同組合(小松義文理事長 組合員108社)は、甲府市地方卸売市場を利用する青果物の小売と卸売を行っている事業者で構成されている。

組合の主要事業は、甲府市地方卸売市場からの青果の仕入れ代金を組合員に代わり組合が一時立



マス釣り大会

替払を行い、その後組合員から回収するという「代払精算事業」を行い、円滑な仕入業務により組合員に貢献している。

また、「福利厚生事業」では、組合員やその従業員、市場関係者や関係機関などを交えた「マス釣り大会」「親睦旅行」「新年懇親会」を開催し、相互の交流を深めている。さらに、組合員の取引上のトラブルなどの解決のため「無料法律相談会」も実施し、組合員の事業運営の支援にも力を入れている。

甲府市地方卸売市場が毎年11月に主催している「消費者感謝デー」は、青果や鮮魚の消費増加と地元小売店からの購入をピーアールすることを目的としており、組合も積極的に参加し、組合員の売上向上をサポートしている。

普段は市場に入れない一般消費者に市場を開放し市場を知ってもらうとともに、消費者に感謝の気持

ちを込めて無料の野菜釣りやバナナのたたき売り、マグロの解体ショー、カニ汁などの試食を行っているイベントで、多くの県民に好評を頂いている。



セリの様子

小松理事長は「近年、大型小売店の影響による組合員の激減や高齢化社会到来の中での買い物難民の問題に対する取り組みの必要性を認めており、今後も、組合事業の合理化と活性化を進め、組合、組合員が一丸となり青果の小売業界を再構築し、組合員の経営の安定に貢献しながら地域の流通を守るために、組合事業を積極的に展開しなければならない。」と今後の課題についても話してくれた。